

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

【達成状況】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="radio"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	-	100.0
中学校	-	100.0
高等学校	-	-
特別支援学校	-	-
幼稚園	-	100.0

【所見】

本計画において、防災機能強化として、笠縫東小学校天窓補修工事および玉川中学校建具改修工事を行い、児童生徒の安全な教育環境の整備を実施した。

公立幼稚園、小中学校の耐震化は既に完了済みであり、今後は非構造部材の耐震化対策に積極的に取り組み、児童生徒の学習環境に必要とされる安全性を確保すべく、早急かつ計画的に事業を実施していく。

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

<input checked="" type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

特になし(該当事業無し)

③教育環境の質的な向上を図る整備

【達成状況】

<input checked="" type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

校舎の老朽化対策として、山田小学校、志津小学校、常盤小学校および新堂中学校において大規模改造工事を実施した。
学校トイレについては、開校以来抜本的な改修ができていない老朽化の著しいトイレを対象として全面的な改修を行い、洋式便器化、多目的トイレの整備等の工事を順次実施し、本計画内では山田小学校、玉川小学校および玉川中学校の改修を行った。
バリアフリー化事業として、南笠東小学校、草津第二小学校および常盤小学校にエレベータを設置した。
グラウンド整備事業として、志津小学校および常盤小学校のグラウンド改修を実施した。

市内全小中学校・幼稚園の耐震化事業が完了していることから、今後は非構造部材の耐震化と併せて、公立学校施設の質的整備がより一層の課題になっており、老朽改修等の事業を計画的かつ積極的に実施していきたい。

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【達成状況】

<input type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

2 事後評価の時期及び方法について

本計画の最終年度である平成26年度が終了した時点で、庁内で事後評価を実施した。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

施設整備計画に計上した事業については、計画通りに実施することができた。
市内の公立学校施設については築後20年以上の施設がほとんどであることから、老朽改修・トイレ改修等を効率的に実施することができた。
また、大規模改造工事やエレベータ設備を必要とする児童生徒の入学に併せて、エレベータの設置を行っているところであり、本計画内でも3校で整備を行い、より一層の教育環境の質的向上を図ることができた。
今後は体育館、武道場および校舎棟の非構造部材の耐震化を推進するとともに、各学校施設の質的整備も重要不可欠であることから、大規模改造事業を活用しながら児童生徒の望ましい教育環境の整備を推進していきたい。